

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	高度建築計画	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材							
担当教員情報							
担当教員	渋沢浩夫、加瀬谷章紀、安藤貴昭、根本毅、丸山尚子			実務経験の有無・職種	有・建築設計		
学習目的							
これまでで学んだ計画原論、都市計画、建築史の分野から更に深く専門的に学び、国内外の実例から現代建築の設計手法や最新の建築技術について理解を深めることで、建築分野での現状を把握し実務に活用できる知識を得ることを目的とする。							
到達目標							
次の3点を到達目標とする。 ①現代の住宅計画、教育施設の実例について理解する。 ②現代の商業施設、公共施設の実例について理解する。 ③建築計画のデジタル手法、最新の建築技術から現代の設計手法を理解する。							
教育方法等							
授業概要	これまでで学んだ建築計画の基礎をもとに現代におけるその建築の実践例を通じてその建築計画特に建築計画各論の側面より論じ考察する。そこから現代建築、都市に関する計画的アプローチとその問題点について考察する。						
注意点	基礎となる建築計画について基本的な理解を前提としていることからその基礎についてより意識を高め受講準備をすること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。マナーについては、日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	レポート	70%	レポートを総合的に評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	脱nLDKから始まる住宅計画			現代の住宅計画について理解する			
2回	集合することの意味と実践			現代の集合住宅の計画について理解する			
3回	文化の融合とその器としての図書館			現代の図書館の計画について理解する			
4回	教育の場としての完成から展開へ			現代の教育施設について理解する			
5回	コミュニティ施設としての劇場とその機能			現代の商業施設について理解する			
6回	複合と地域コミュニティの拠点としての建築			現代の複合施設について理解する			
7回	開かれた行政機関を目指して			現代の公共施設について理解する			
8回	近代都市の完成とその教訓をふまえて			グローバル時代の都市計画について理解する			
9回	形態とその設計手法について			現代の設計手法の事例について理解する			
10回	デジタルを建築の関係			デジタルな手法を用いた建築計画について理解する			
11回	世界の建築の潮流			現代の世界にある建築について理解する			
12回	最新建築技術の紹介			最新の建築技術とはどのようなものがあるか理解する			
13回	人口減少時代の日本の建築のこれから			日本の建築の今後について理解する			
14回	地方創生と働き方とオフィス空間			現代の事務所建築について理解する			
15回	総まとめ			まとめ小テスト			